

(様式 1)

令和 7 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立東吾嬬小学校
校長名	藤村 雅彦

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
・前年度目標①「DE 層の割合を減少」を達成。 (18 観点で平均 15P 減・16 観点で平均 10P 増) ・前年度目標②「AB 層の割合の増加」を達成。 (19 観点で平均 16P 増・15 観点で平均 11P 減) ・前年度目標③「理科や算数の学力のさらなる向上」は理科で達成。 (標準スコア 50 基準を理科は 49.2 から 50.3 に。算数は 51 から 51 と変わらず。) ・学校全体では、標準スコア 50 以上を 17 教科中 13 教科で上回る。昨年より 2 教科増。	・DE 層の割合が、16 観点で平均 10P 増のため、さらに減少を目指す。 ・AB 層の割合が、15 観点で平均 11P 減のため、BC 層の学力アップが課題。 ・理科は「知識・技能」、「思考・判断・表現」の 2 観点での目標値越えが 50%で、教科中一番低い。(英語 100%・国語算数 90%・社会 67%) ・学校全体の標準スコア 50 以上の教科をさらに増やす。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
・「学校の規則や、クラスで話し合って決めたことを、守っている」の規範意識が全国平均を全クラスが上回った。(100%達成) ・「将来の夢や目標がある」の充実感と向上心が全国平均を超え、良好だった。(90%) ・「学校の授業以外に週に何日勉強しているか」は昨年より改善した。(33%から 63%に)	・「予習や復習をしている」は、昨年度よりも改善したが、学年学級で差が見られた。 (学年では 75%に改善したが、学級間での差が大きかった。) ・「自分なりに努力してうれしかったことがある」は全国平均に比べ、40%と低かった。 ・全校実践の「テストの間違い直し」は全国平均を超えたが、昨年と同じであった。(80%)

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・子供たちは落ち着いた態度で、学校生活を送っている。また、各学級で授業規律が保たれ、学習に取り組んでいる。 ・国語は学習の振り返りを始め、ゲストティーチャーにお礼の手紙を書くなど、あらゆる機会を通して指導した成果が出ている。	・理科を令和 4・5 年度の墨田区研究協力校で研究実践した。その成果を引き継ぎ、さらに指導力を高めていく。 ・今年度は、特色ある学校づくり推進校として、「個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す国語の授業づくり」の研究で指導力を高める。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学校全体で組織的な取組をする

- ・令和6年度学力向上プランの学年取組成果をもとにして、今年度の学年取組に活かす。
- ① 1年生 → 友だちの発表内容のよさに注目できるよう、教師がその都度適切な補足を加える。
- ② 2年生 → 文章問題の課題をふり返しシートやミライシードを活用し、家庭学習や朝学習で繰り返し学習する。
- ③ 3年生 → 家庭学習として週に1回、自主学習を取り入れる。D層の児童に復習を中心に組み組めるよう、担任から助言する。
- ④ 4年生 → 単元のまとめでは、振り返りシートや問題データベース、学力調査問題等を利用して多くの問題に取り組ませる。
- ⑤ 5年生 → 国語科や社会科の授業において、資料の読み取りを丁寧に行い、そこから考えたことをアウトプットする時間を設定する。
- ⑥ 6年生 → 理科の実験や社会科の歴史年表づくりなど、体験活動を通して知識・技能の習得に努めていく。
- ・学力向上委員会の提案を中心に、全教員が学力の向上のために、共通理解・共通実践をする。

(2) 教員の授業力・指導力を高める

- ・子供たちや教職員が「笑顔で登校し、満ち足りた気持ちで家路につく」よう、一日の授業実践を充実させるように努める。
- ・校内での研究授業や年3回以上の授業観察には、教員が互いに授業を見合い、よさを共有し、自己の授業実践に活かすOJTの機会にする。
- ・区小研や研修会、自己研鑽で学んだことは、校内OJT研修会や日頃の授業実践で、校内還元する。また、学年会や日頃の交流を通して、他者のよさに学び、自己の強みを磨き、全員で向上する。
- ・校内研究を国語の説明文に絞り、授業力・指導力の向上を目指す。

(3) 保護者や地域・外部団体と連携して充実した取組を行う。

- ・保護者や地域と連携したこれまでの実践を継続し充実させ、生活に根ざした教育実践を行う。
- ・学校支援ネットワークの出張授業や、新たな外部団体との連携を行い、子供たちのためになる学習の充実を図る。
- ・本校の子供たちの課題や改善策について、学校での取組と家庭・地域での取組を伝え合い、学校と家庭・地域が連携・協力して子供たちの学力向上を図る。

3 「令和8年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・DE層の割合の減少。
- ・AB層の割合の増加。
- ・理科の学力のさらなる向上。